

子どもの笑顔 傘100本に



8月6日(金)
(先勝・旧暦6月26日)

あす 平和祈念像前で開催



7日の本番に向けリハーサルをする水谷孝次さん
—長崎市平和公園

水谷さんは1980年代から大手企業の広告を手掛け、世界的な展覧会で数々の受賞歴を持つ。しかし、利益追求の仕事に疑問を抱き、99年から「笑顔は世界共通のコミュニケーション」を合言葉に、世界の子どもの笑顔を集める「メリー・プロジェクト」

長崎原爆の日の9日を前に、世界の子どもの笑顔に、世界の子どもの笑顔を印刷した傘100本を広げ、平和のメッセージを発信する「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が7日、長崎市の平和公園で開かれる。主催する世界的なアートディレクター、水谷孝次さん(59)は「子どもたちの笑顔は未来への希望。戦争・紛争の火種を和らげる希望の光を発信し、核兵器廃絶の動きにつなげた貧困街などを巡ってきた。『負』を経験した子どもたち

アートディレクター 水谷孝次さん計画

「『負』を経験した子どもたちの笑顔は強い」と言う水谷さん。笑顔に傘をプリントした「メリー・アンブレラ」は愛知万博や北京五輪、上海万博などで発表してきた。

今回は被爆、終戦から65周年の節目で計画。1日に広島市で開いており、14日は沖縄県糸満市でも予定している。今回の平和を語るまち。笑顔の力で平和のまち、希望のまちをつくらせてほしい」と話す。

7日は午後2時から平和公園の平和祈念像前で、地元デザイナーや学生の協力で100本の傘を一齐に開く。飛び入り参加も可能で、子どもたちの写真撮影も行う。(小出久)